

## 令和2年度第2回千葉県図書館協議会資料一覧

- 1 千葉県図書館協議会委員名簿（第35期）
- 2 千葉県立図書館行動計画（平成30～令和2年度）の進捗状況について
- 3 千葉県立図書館における新型コロナウイルス感染症への対応について
- 4 各館資料
  - (1) [県教委NEWS 11月号 「With コロナ時代の図書館研修！！」](#)
  - (2) [「West Library」 千葉県立西部図書館だより](#)
  - (3) [「知識は旅をする」 千葉県立東部図書館だより](#)
  - (4) [調べ案内（パスファインダー）](#)
    - 風水害について調べる
  - (5) [図書館から世界が見える](#)
    - 地質時代「チバニアン」
    - 食品ロス
    - 高齢者の運転

# 千葉県図書館協議会委員名簿(第35期)

任期 令和元年7月22日～令和3年7月21日

番号	委員の区分	氏名	役職等	備考
1	学校教育関係者	おおくぼ はじめ 大久保 一	八街市立八街北中学校教頭 (千葉県教育研究会 学校図書館教育部会会長)	
2	学校教育関係者	つかだ こういちろう 塚田 高一郎	千葉県立八千代東高等学校校長 (千葉県高等学校教育研究会 学校図書館部会会長)	
3	学校教育関係者	こいずみ たかし 小泉 卓史	前学校法人市川学園 市川中学校・市川高等学校 前第三教育部長・第三教育センター長	
4	社会教育関係者	さかぐち そのこ 坂口 園子	柏市地域づくり推進部藤心近隣センター 所長 (前千葉県公民館連絡協議会副会長)	
5	社会教育関係者	おの ひみこ 小野 日実子	四街道市立図書館長 (千葉県公共図書館協会監査役)	
6	家庭教育関係者	やぐち もりあき 矢口 盛明	千葉県PTA連絡協議会本部役員	
7	家庭教育関係者	なか けいこ 名嘉 圭子	千葉県特別支援学校PTA連合会会長	
8	学識経験者	さとう もとこ 佐藤 宗子	千葉大学教育学部教授	
9	学識経験者	たけうち ひろや 竹内比呂也	千葉大学副学長・附属図書館長 (千葉大学人文科学研究院教授)	
10	学識経験者	たかいし たかし 高石 卓	千葉信用金庫理事 (元千葉県立中央図書館館長)	

## 千葉県立図書館行動計画（平成30～令和2年度）の進捗状況について

千葉県立図書館行動計画について、上半期の状況は別紙（A3資料）のとおりである。

主な取組の進捗状況については9月末時点における状況（今後の見直し含む）であること、概況については、上半期状況（前年度同期との比較）によるものである。

なお、別紙に記載した取組の主な内容は以下のとおりであり、次回図書館協議会にて3年間の計画期間の終了年度としての総括的なご意見をいただく予定である。

### 1 図書館ネットワークの発展

#### (1) 市町村図書館等への支援強化

評価指標	R1(上半期)	R2(上半期)	増減
市町村立図書館等への貸出冊数	36,488	28,795	21.1%減

市町村立図書館等への貸出冊数については、前年度の21.1%減となっている。緊急事態宣言解除後の6月以降、平年並みに利用が戻り始めたところである。

### 2 図書館員の資質向上

#### (1) 図書館職員センター機能の強化

評価指標	R1(上半期)	R2(上半期)	増減
研修受講者の満足度	92.0%	97.1%	5.1ポイント増

研修受講者の満足度については、前年度の5.1ポイント増であり、目標値(90.0%)を上回っている。感染症拡大防止策として、定員縮小、遠隔研修の実施に取り組んだ。

### 3 子どもの読書活動の推進

#### (1) 地域の子どもの読書環境整備の推進

評価指標	R1(上半期)	R2(上半期)	増減
読み聞かせ講座の受講者数	25	23	8.0%減

読み聞かせ講座の受講者数については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため定員を減らしていることから、目標値(80人)の達成は困難な状況となっているが、1回目は定員の92%の参加者があった。引き続き、講座開催自治体との連携を密にし、広報に努めていく。

## (2) 学校図書館への支援の強化

評価指標	R1(上半期)	R2(上半期)	増減
県立学校等への貸出冊数	12,186	8,761	28.1%減

県立学校への貸出冊数については、前年度の28.1%減となっている。学校再開後も授業時数の関係から図書を使った授業にまで至らないことも想定される。

## 4 課題解決支援図書館

### (1) 課題解決支援、調査研究機能の強化

評価指標	R1(上半期)	R2(上半期)	増減
課題解決支援のための情報発信件数※	30	27	10.0%減

※レファレンス協同データベース、パスファインダー、時事情報ブックリスト等

課題解決支援のための情報発信件数については前年度の10.0%減となったが、新型コロナウイルス感染症（関連リンク集）の更新など、リンク集の作成・更新を行った。

## 5 千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承

### (1) 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進

評価指標	R1(上半期)	R2(上半期)	増減
千葉県に関する情報発信件数	16	10	37.5%減

千葉県に関する情報発信件数については、前年度の37.5%減であるが、概ね計画どおり進捗している。

## 6 知の創造と循環を生み出す公共の場

### (1) 博物館など関係機関との連携の推進

評価指標	R1(上半期)	R2(上半期)	増減
連携事業の実施回数	10	4	60.0%減

連携事業の実施回数については、前年度の60.0%減となっている。

### (2) 図書館利用が困難な人々へのサービスの充実

評価指標	R1(上半期)	R2(上半期)	増減
録音図書の貸出タイトル数	6,563	5,780	11.9%減

録音図書の貸出タイトル数については、前年度の11.9%減となっている。サピエ図書館への市町村立図書館等の加入が増えていることも一因と考えられる。

## <全体を通して>

新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、ほとんどの評価指標が昨年同期の状況を下回る結果となっているが、研修受講者の満足度の項目では、前年同期を上回る結果が見られた。年度末に向け、引き続き各事業の取組の推進を図っていく。

千葉県立図書館行動計画(平成30～令和2年度)の進捗状況(令和2年9月末現在)

役割・機能	重点項目	主な取組	スケジュール			主な取組の進捗状況(今後の見通し含む)	評価指標	R2 目標値	実績値(年間)		実績値(上半期)		R2年度概況上半期 状況 (前年度同期との比較)	(参考) R1年度概況(通年)
			H30	R1	R2				H30	R1	R1(上 半期)	R2(上 半期)		
1	図書館ネットワークの発展	市町村立図書館等への貸出し、相談事業等の推進	▶	▶	▶	・全市町村を訪問し、各図書館の課題について運営相談を行った。中央:1回目完了、2回目は希望館のみ実施予定。西部:11市立図書館11月実施予定 東部:1回目完了、2回目は11月～1月に実施予定。 ・3館それぞれ相互協力担当者会議を10月に延期して開催し、相互協力業務の確認や情報交換を行う。 ・中央図書館では、県内市町村立図書館等読書施設に対して、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館等の状況及び開館後のサービス状況を調査し、ホームページに掲載した(8月末日で終了)。 ・西部図書館では、館広報誌(10月発行)に11市の図書館利用案内を掲載する。 ・東部図書館では、コロナ禍での各館の状況について取りまとめ、東部エリア内の情報共有を図っていく。	市町村立図書館等への貸出冊数	75,000	72,468	69,077	36,488	28,795	市町村立図書館等への貸出冊数については、前年度の21.1%減となっている。緊急事態宣言解除後の6月以降、平年並みに利用が戻り始めたところである。	市町村立図書館等への貸出冊数については、前年度の4.7%減となり、目標値に届かなかった。新型コロナウイルスによる県内図書館の休館の影響もあるが、目標値の9割方の貸出しは維持している。今後も市町村立図書館等のニーズに沿った支援を進めていく。
		市町村立図書館等への支援の強化	▷	▷	▷	・1館集約後の物流体制について、物流担当者会議を開催し、高校への配送方法含め、検討を進めている。 ・県立図書館資料の受取・返却場所の拡張の可能性について検討を開始している。 ・県内市町村立図書館等読書施設への支援に関するアンケートの内容を、検討中。 ・「令和2年度公共図書館・公民館図書室等読書施設の実態調査」の内容を検討し、本年度実施に向けて準備中。								
		県内最後の1冊保存体制の検討	▷	▷	▷	・県内最後の1冊保存体制について、引き続き国内の先事例など文献調査を行った。今後は個別調査のための調査項目をまとめ、図書館や団体において、事業の取組又は検討の内容について調査する予定。また県内市町村立図書館等への意見聴取を検討している。								
2	図書館職員の資質向上	経験別、分野別研修の実施	▶	▶	▶	・新任職員、児童・レファレンス・障害者・課題解決支援の各研修を実施した(延べ11回開催)。 ・各研修時のアンケート結果を分析し、課題の整理を進めている。	研修受講者の満足度	90.0%	90.6%	92.0%	92.0%	97.1%	研修受講者の満足度については、前年度の5.1ポイント増であり、目標値を上回っている。感染症拡大防止策として、定員縮小、遠隔研修の実施に取り組んだ。	研修受講者の満足度については、前年度と同数値であり、目標値を上回った。
		研修機会の拡充	▷	▷	▶	・中央図書館主催研修事業の開催場所について検討し、県文化会館を会場とした。一部の研修会について西部図書館を会場として実施予定(同時に遠隔研修も実施予定)。 ・西部図書館では、一部の研修会について会場研修と並行して遠隔研修を実施した。								
		研修内容のアーカイブ化	▷	▷	▷	・研修内容のアーカイブ化(ホームページでの公表等)について、他県等に対する調査項目など今年度も継続して検討している。また、研修内容や事業報告については、ホームページでの公表を開始している。								
3	子どもの読書活動の推進	読み聞かせ講座の実施	▶	▶	▶	・読み聞かせボランティア入門講座を1回、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を40名から25名に縮小して実施した(館山市23名参加)。今年度2回目は、九十九里町にて、平日参加しにくい学校関係者(教員・生徒など)にも参加してもらえるよう、1月31日(日)に開催予定。	読み聞かせ講座の受講者数	80	105	54	25	23	読み聞かせ講座の受講者数については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため定員を減らしていることから、目標値の達成は困難な状況となっているが、1回目は定員の92%の参加者があった。引き続き、講座開催自治体との連携を密にし、広報に努めていく。	読み聞かせ講座の受講者数については、前年度の48.6%減となり、目標値を下回った。令和2年度は新型コロナウイルスの状況等にもよるが、講座開催自治体との連携を密にし、広報に努めていく。
		子育て支援情報サービスの推進	▶	▶	▶	・下半期に子育てに関する新着図書案内を作成し、館内で配布予定。 ・生涯学習課や子育て支援課と連携し、子育てに関するパンフレット等の収集、提供を進めている。								
		児童書の網羅的収集の検討	▷	▷	▷	・児童書の網羅的収集について、国内の先事例など文献調査を行った結果を元に、実施している図書館への個別調査を行う予定。								

役割・機能	重点項目	主な取組	スケジュール			主な取組の進捗状況(今後の見通し含む)	評価指標	R2 目標値	実績値(年間)		実績値(上半期)		R2年度概況上半期 状況 (前年度同期との比較)	(参考) R1年度概況(通年)	
			H30	R1	R2				H30	R1	R1(上 半期)	R2(上 半期)			
3	子どもの読書活動の推進	(2) 学校図書館への支援の強化	【県立学校等への貸出し、相談事業等の充実】 ・県立学校等の相互貸借について実態調査を進める。 ・要望の多い貸出セットの重複購入を検討する。 ・生徒向け読み聞かせ講座、図書館活用講座等を実施する。	▶	▶	▶	・各会議が中止となったため、学校訪問等を実施する際に、相互貸借などの実態調査や資料を活用しての授業参観を行い、ホームページで公表することで、利用促進を図っていく。 ・要望の多い貸出セットや改訂が必要なセットについて調査検討し、改定、新規セット作成中。 ・中央図書館管内の未登録校へ事業説明を行い、新規登録を進めた(新規登録4校)。 ・運営相談を実施予定(東部:高校21校・特別支援学校6校に対し年1回11月～1月実施予定、西部:希望校を調査し12月以降に3校訪問予定)。 ・中央図書館では、高校への読み聞かせ講座講師派遣を現在2校実施。下半期に2校実施予定。	県立学校等への貸出冊数	31,000	32,999	24,359	12,186	8,761	県立学校への貸出冊数については、前年度の28.1%減となっている。学校再開後も授業時数の関係から図書を使った授業にまで至らないことも想定される。	県立学校への貸出冊数については、前年度の26.2%減となり、目標値を下回った。学校への広報はホームページに加え、紙媒体による積極的な広報に力を入れ、引き続き啓発資料の配付に努めていく。
			【特別支援学校への読書支援の充実】 ・学校訪問等でニーズと支援方法を探り、読書支援を継続、推進する。	▶	▶	▶	・特別支援学校・高等学校への訪問、絵本の読みきかせを中心とした「おはなし会」を今後実施予定。その際、未登録校には登録方法を案内し利用促進を図る。 ・中央図書館では、下半期8校訪問予定。新型コロナウイルスの影響で中止となった特別支援学校のうち希望する学校に対し、おはなし会の代替としておはなし会のプログラムや大型絵本などを提供予定。 ・西部図書館では1校へ訪問、下半期4校訪問予定。 ・東部図書館では12月に2校、1月に1校訪問予定。								
			【市町村立図書館等と小中学校との連携への支援】 ・市町村立図書館等と小中学校との連携状況を調査する。 ・小中学校支援モデル事業として貸出セットの作成を検討する。 ・図書館未設置市町村等が小中学校との連携を推進できるよう、資料の支援に努める。	▷	▷	▷	・市町村立図書館等と小中学校との連携状況について運営相談での聴取を進めている。今後、貸出しの需要について把握し、資料活用の推進を図る。 ・図書館未設置市町村への訪問時に小学校教科指導で使える教科書単元・テーマ別資料リストの更新とその図書見本を持参し、管内小学校等への周知を依頼した。中学校用リストについても作成次第周知していく予定。小中学校への資料貸出の傾向を把握するとともに、市町村立図書館等読書施設での選書支援等に努めている。								
4	課題解決支援図書館	(1) 課題解決支援、調査研究機能の強化	【課題解決支援サービスの充実】 ・法律情報支援サービス、医療情報支援サービス、シニア支援情報サービス等を推進する。 ・個人への郵送貸出サービスを実施する。 ・行政課題等の解決に資する資料を収集、提供する。	▶	▶	▶	・西部図書館では、平成25年度に設置した医療・健康情報コーナーの今後を見据えた振り返りを進めている。 ・東部図書館の「はつらつライフなび」コーナーでは、「年金」、「料理」、「健康普及月間」、「大活字で読む時代小説」をテーマにした展示を4回実施した。 ・個人への郵送貸出サービスを平成30年9月から開始し、令和2年度は9月までに110件289冊の利用があった。 ・行政課題等の解決に資する資料を適宜収集し、県庁内掲示板に隔月でテーマ別資料一覧を更新して、情報提供に努めている。	課題解決支援のための情報発信件数	90	112	103	30	27	課題解決支援のための情報発信件数については、前年度の10.0%減となったが、新型コロナウイルス感染症(関連リンク集)の更新など、リンク集の作成・更新を行った。	課題解決支援のための情報発信件数については、前年度の8.0%減となったが、「図書館から世界(ニュース)が見える」の創刊もあり、目標値は上回った。
			【レファレンス事例の一般公開】 ・国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供を進める。	▶	▶	▶	・レファレンス協同データベースに千葉県関係以外の事例を14件登録した。								
			【県民向け講座の実施】 ・図書館活用講座、データベース活用講座等を実施する。	▶	▶	▶	・課題解決支援講座として、暮らしに役立つ法律・判例情報講座を11月に開催予定、はつらつライフ講座の開催については検討中。 ・データベース活用講座として、新聞記事データベースの講座を11月に開催予定、菜の花ライブラリー活用講座について検討中。 ・その他、歴史講座を開催し、サイエンスカフェを11月に開催予定。								
			【時事問題等に関する新たな情報提供サービスの実施】 ・時事問題や地域の課題等に関する資料の紹介、ブックリスト等の作成、提供を行う。	▷	▶	▶	・「新型コロナウイルス感染症(関連リンク集)」を作成、公開した。また、令和元年度末に作成、公開した「新型コロナウイルス対策のために学校がお休みのみなさんへのリンク集」を更新、改題し、「読書や学習に役立つ子どものためのリンク集」として公開した。 ・令和元年度に開始した「図書館から世界(ニュース)が見える」について、「自治体とSNS情報発信」「避難所運営と感染症対策」「外国人技能実習制度」「地質時代「チバニアン」」の4件を作成、公開した。 ・中央図書館では、児童書関連の展示リストとして「赤羽末吉さんの本～生誕110年を記念して～」の2件を作成した。教科書単元・テーマ別資料リストを追加作成中。 ・東部図書館では、「世界の旅を読む」などのブックリストを6件作成した。								
			【電子書籍や商用データベースの動向調査】 ・都道府県立図書館の導入事例や市場動向等について調査を進める。	▷	▷	▷	・当館の収集方針に適した電子書籍サービスのプラットフォーム(動作環境等)などを検討している。 ・先進館の導入事例などを参考に、県民の調査・研究に資する商用データベースの追加導入を検討した(令和元年度13種類を追加導入済み)。								
			【新館整備に向けた資料管理の検討】 ・重複図書の除籍を進める。 ・重複雑誌の除籍と書誌修正を進める。 ・新館における資料の収集、整理方法について検討を進める。	▶	▶	▶	・重複図書の除籍作業は鋭意進めている。 ・1館集約に向け、令和元年度から分野ごとの分担収集を開始し、業務の効率化を図った。また、集約後の図書収集や整理方法等のあり方について、文書館等とも協議しながら検討を進めている。								

役割・機能	重点項目	主な取組	スケジュール			主な取組の進捗状況(今後の見直し含む)	評価指標	R2 目標値	実績値(年間)		実績値(上半期)		R2年度概況上半期 状況 (前年度同期との比較)	(参考) R1年度概況(通年)	
			H30	R1	R2				H30	R1	R1(上 半期)	R2(上 半期)			
5	千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承	(1) 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進	【千葉県関係資料の網羅的収集】 ・官公庁など関係部署への寄贈依頼を定期的に行う。 ・出版情報について新聞記事等により把握し、幅広い収集を行う。	▶	▶	▶	・県庁ホームページや文書などで幅広く寄贈依頼を行うとともに、新聞記事や広報などで資料の刊行情報を入手し、発行元に寄贈依頼を行うことにより、千葉県関係資料の網羅的収集に努めている。 ・千葉県資料受入数(令和2年9月末現在) 購入 145冊 寄贈 440冊 合計585冊	千葉県に関する情報発信件数 ・レファレンス協同データベース ・パスファインダー ・テーマ別ブックリスト等	20	38	43	16	10	千葉県に関する情報発信件数については、前年度の37.5%減であるが、概ね計画どおり進捗している。	千葉県に関する情報発信件数については、年々発信の充実を図り、前年度の13.2%増となり、目標値を上回った。
			【千葉県関係の情報検索ツールの充実】 ・国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供や新聞雑誌記事索引、人名索引、デジタルアーカイブ、パスファインダー、テーマ別リスト、目次情報など、千葉県関係の情報に到達しやすい環境を整備する。	▶	▶	▶	・千葉県関係として国立国会図書館レファレンス協同データベース7件、「令和元年房総台風等の報告書一覧」などテーマ別リスト2件を追加した。時事情報「図書館から世界(ニュース)が見える」について「地質時代「チバニアン」」1件を作成公開した。								
			【千葉県資料のデジタル化】 ・地図や郷土誌、県が編集発行した行政資料など利用者ニーズの高いものからデジタル化を進める。 ・国立国会図書館や他県の動向について調査を行い、デジタル化の指針を改定する。	▶	▶	▶	・千葉県関係資料の中から刊行年が古い資料(地図等)を選定し、デジタル化作業を委託した。 ・「千葉県関係資料デジタル化の長期方針(案)」を作成し、考え方を整理した。								
			【インターネット上の地域行政資料の動向等調査】 ・ポーンデジタル資料(初めからデジタルデータとして作成されたコンテンツ)やオープンデータ(二次利用が可能な利用ルールで公開されたデータ)の収集、提供など、国内の動向について調査を行う。	▷	▷	▷	・電子的な形態の地域行政資料を当館のデジタルアーカイブに取り込み、発信できるような手法について調査を行っている。 ・なお、著作権者の許諾を得られた資料については当館でプリントアウトし、蔵書とした(令和2年度9月末現在)94冊								
6	知の創造と循環を生み出す公共の場	(1) 博物館など関係機関との連携の推進	【関係機関と連携した事業の実施】 ・博物館や文書館、県民プラザ等と連携して、展示、講座等を実施する。 ・関係機関が実施する講座等へ、職員を講師として派遣する。	▶	▶	▶	・関係機関と連携して実施した展示、講座等は次のとおり 県民プラザ:読み聞かせ講座(19名参加) 文書館:歴史講座「寺社参詣の旅と房総」 旭いおか文芸賞「海へ」実行委員会:旭いおか文芸賞「海へ」2020 作品集第4集出版記念/高橋順子講話 第1回審査会(審査員の委嘱) 科学道100冊委員会(理化学研究所と編集工学研究所との合同プロジェクト):「科学道100冊」展示	連携事業の実施回数	10	18	25	10	4	連携事業の実施回数については、前年度の60.0%減となっている。	連携事業の実施回数については、前年度の38.9%、増となり、目標値を上回った。
			【関係機関との連絡調整会議の実施】 ・博物館や文書館、県民プラザ等関係機関との情報共有を進める。	▶	▶	▶	・中央博物館、さわやかちば県民プラザ、文書館の担当者間で連携事業などについての意見交換会について開催予定。								
			【オリンピック、パラリンピック関連事業の実施】 ・県関係機関と連携しながらオリパラ関連資料を収集、提供し、展示など県民への広報普及に努める。	▷	▶	▶	・「ホストタウン相手国を知ろう」をテーマに、東部図書館管内のオリンピック、パラリンピックのホストタウンとなっている自治体の相手国についての図書の展示や、自治体から頂いたパンフレットの配布を行った。 ・オリンピック・パラリンピック資料展示コーナーで使用した資料を元に巡回展示用に資料一式を県内市立図書館1館に貸し出した。								
		(2) 図書館利用が困難な人々へのサービスの充実	【障害者用コンテンツの充実】 ・点訳絵本、録音図書等の作成を進める。	▶	▶	▶	・中央図書館では、点訳絵本6タイトル、録音図書3タイトルを製作中。西部図書館では、テキストデータを12件製作し、録音図書を25タイトル製作中。東部図書館では、録音図書6タイトルを製作中。	録音図書の貸出タイトル数	14,000	13,532	12,739	6,563	5,780	録音図書の貸出タイトル数については、前年度の5.9%減となり、目標値に届かなかった。なお、近年、録音図書の貸出しは、サピエ図書館への市町村立図書館等の加入が増えていることも一因と考えられる。	録音図書の貸出タイトル数については、前年度の11.9%減となっている。サピエ図書館への市町村立図書館等のダウンロードに利用がシフトつつある。今後も市町村立図書館等でのサービス充実を図る。
			【障害者サービスの普及】 ・県内図書館向け研修や県民向け講座等を充実する。	▶	▶	▶	・中央図書館では、音訳者養成講座を11~12月、読書支援機器活用講座、サピエ図書館活用講座を12月に開催予定。 ・西部図書館では、障害者のための資料デジタル化講座(24名参加)、障害者サービス研修会(20名参加)を感染症拡大防止策を講じて会場の定員を半減させ、遠隔研修も併せて開催した。音訳者養成講座(初級)(中級)、障害者サービス研修会(第2回)を10月~12月に、読書支援機器活用講座を1月に開催予定。 ・東部図書館では、音訳者の資質向上のための講座を2回(11/11、18)、当館職員が講師となり、開催予定。								
			【新しいサービスの研究開発】 ・多言語社会や発達障害者への対応など新しいサービスの研究開発を進める。	▷	▷	▷	・中央図書館児童資料室内に点訳絵本やさわる絵本、LLブックなどバリアフリー資料を集めた「りんごの棚」を設置し、手に取りやすい形での資料提供を行っている。								

※スケジュール凡例  
▷: 検討段階  
▶: 実施段階

## 千葉県立図書館における新型コロナウイルス感染症への対応について

新型コロナウイルスの感染拡大が依然として続いているが、千葉県立図書館におけるこれまでの新型コロナウイルスへの対応の経過については、別紙（A3資料）のとおりであり、今後も感染拡大の状況等を踏まえつつ、適切な対応を行っていく。

なお、別紙に記載した取組の主な内容は以下のとおりである。

### 1 取組の概要

#### <1月～2月における取組等>

- 国内における新型コロナウイルス感染症患者が確認されたこと等を受けて、年度内に予定していたイベント（集会事業）をすべて中止。

#### <3月における取組等>

- 文部科学省の通知等を受けて、3月3日から3月15日まで臨時休館とするとともに特設窓口を設置。以下のサービスを継続。
  - ・予約図書の特設窓口での貸出・返却
  - ・電話やFAX、ホームページでの予約、レファレンスの受付
  - ・郵送による図書の貸出、返却、複写（有料）等
- 臨時休館の期間を「当面の間」とする。（結果として5月25日までとなる。）
- 「新型コロナウイルス対策のために学校がお休みのみなさんへのリンク集」を公開。（3月17日）

#### <4月における取組等>

- 4月7日に、国の緊急事態宣言が発令され、本県を含む7都府県が緊急事態措置を実施すべき区域とされる。  
これにより、特設窓口でのサービスを休止（4月11日）。（対面によらないウェブ、電話、郵送、メールで対応できるサービスは継続）
- 新型コロナウイルス感染症（関連リンク集）を公開。（4月8日）
- 新型コロナウイルス関連情報ページの新設（4月11日）

#### <5月における取組等>

- 千葉県新型コロナウイルス感染症対策本部において、図書館に対する施設使用停止要請が解除されたことを受けて、5月26日開館。（平日の開館時間を17時までに短縮（通常は19時まで））

- 「千葉県立図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を策定。別紙備考欄に記載したとおり、感染拡大防止策を講じる。

### ＜6月以降の取組等＞

- 開館時間の変更（7月29日より、平日の開館時間を17時から19時までに変更）
- 感染拡大の状況等を踏まえつつ、別紙資料に記載のとおり、休止していた事業の再開や利用時間の変更等を随時実施。

## 2 閉館等による影響

### ○資料管理について

資料収集においては、出版流通の停滞等により業務の遅れが生じた。一方、蔵書検索においては、個人によるアクセス数は近年減少していたが、今年度は増加傾向がみられる。外出自粛による図書利用の増加等により、図書館の蔵書検索機能が活用されていることが原因かと考えられる。

### ○図書館連携について

図書館支援事業については、県内各館の休館により、一時協力貸出業務の物流は途絶えた。緊急事態宣言解除後、対図書館については、利用が持ち直しているが、対学校については、厳しい授業時程の中、図書の利用は回復していない。運営相談については、順次再開しているところである。

### ○研修会及び集会事業について

コロナ禍にあっても図書館職員の資質向上が県立図書館の役割であることから、定員の縮小、日程の分散、オンライン併用などにより、できるだけ開催するように努めた。少人数によるきめ細かな対応や遠隔研修が可能となることで、結果として研修参加者の満足度向上につながったのではないかと考えている。

集会事業についても同様に、一律に自粛せず、できる方法を模索しながら再開しているところである。

### ○休館中及び在宅勤務での取組について

休館及び在宅勤務中、新型コロナウイルス関連のリンク集や時事情報ツールの作成、千葉県関係記事索引の入力、点訳絵本の作成、活字資料のテキストデータ化、重複除籍の選定作業などをできるだけ実施した。また、会計年度任用職員も含め、図書やインターネットによる自己研鑽を行った。

### 3 今後の課題等

#### ○リモートによる研修会等の実施

西部図書館の障害者のための資料デジタル化講座を皮切りに、図書館職員向け研修会等でリモートを併用して開催している。参加者のチャットにより、講師との応答が活性化するなど、効果をあげている。今後は、対面朗読やレファレンスサービスにおいても導入を検討していく必要がある。

#### ○郵送貸出について

平成30年から開始した郵送貸出については増加が見られているが、資料貸出券の新規登録には来館が必要なため、既登録者以外は資料を提供することができなかった。郵送による登録を行うには図書館利用規則の改正が必要なため、現在検討を行っているところである。

#### ○貸出期間や貸出冊数について

貸出期間や貸出冊数について、休館中は貸出期間の延長や貸出冊数の増加が柔軟に対応できるような運用が必要である。これについても、図書館利用規則の改正が必要なため、現在検討を行っているところである。

#### ○電子書籍の導入検討

多額の予算が必要となる事業であるが、時代の趨勢や利用者の利便性等を考えると、電子書籍の導入についても国等の補助制度を注視していくとともに検討を行っていく必要がある。

#### ○ホームページの充実や情報発信について

リンク集や、「図書館から世界（ニュース）が見える」、ツイッター、また紙媒体による学校向け資料など、様々な媒体で広報するほか、今年度は報道発表にも積極的に取り組んでいるところである。新館整備に向けて今後もサービスの充実を図るとともに、戦略的にメッセージを発信する手法について検討する必要がある。

## 千葉県立図書館における新型コロナウイルス感染症への対応について（経過報告）

令和2年12月

	図書館の取組	国・県の動静	備 考
1月～2月	手洗いと手指消毒を促すポスターの掲示（1月下旬）	国内で新型コロナウイルス感染症患者1例目を確認（1/15）	
	年度内に予定していたイベント（集会事業）をすべて中止（2/22）	第1回新型コロナウイルス感染症対策専門家会議（2/16）	
		文部科学省「社会教育施設において行われるイベント・講座等の開催に関する考え方について（令和2年2月26日時点）」発出（2/26） 「新型コロナウイルス感染症対策のための小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における一斉臨時休業について（通知）」発出（2/28）	
3月	<b>臨時休館（3/3～3/15）</b> 予約図書の貸出しのため特設窓口を設けたほか、ウェブ、電話、郵送、メールで対応できる一部のサービスを継続		<b>○継続するサービス</b> ホームページでの資料検索 特設窓口での貸出・返却 ブックポストへの資料返却 電話やFAX、ホームページでの予約、レファレンス受付 図書館の利用に障害のある方への郵送による貸出・返却等 郵送による貸出・返却・複写（有料）
	県内市町村図書館等の臨時休館状況ととりまとめ情報提供開始（ホームページ公表（3/18）、6/25まで概ね週1回更新）		
	<b>休館期間延長</b> （当面の間）を決定（3/13） <b>休館期間は結果として5/25まで</b> となる		
	「新型コロナウイルス対策のために学校がお休みのみなさんへのリンク集」（現・読書や学習に役立つ子どものためのリンク集）公開（3/17）	国「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」発出（3/28）	
4月	新型コロナウイルス感染症（関連リンク集）公開（4/8）	国が緊急事態宣言を行い、5月6日まで埼玉、千葉、東京、神奈川、大阪、兵庫、福岡の7都府県を緊急事態措置を実施すべき区域とし、基本的対処方針を示す。同日、県は県民に対し4月8日より外出自粛を要請（4/7）	職員の在宅勤務、3交代出勤を実施（4/14～5/19）
	<b>特設窓口でのサービス休止（4/11）</b> 新規の予約、リクエスト受付を休止。ウェブ、電話、郵送、メールで対応できる一部のサービスを継続。	県「千葉県における施設の使用の制限等に関する対象施設について」発出。図書館も使用停止の協力要請対象となる。（4/13）	<b>○継続するサービス</b> ホームページでの資料検索 郵送による貸出・返却・複写（有料） ブックポストへの資料返却 電話やFAX、ホームページでのレファレンス受付 図書館の利用に障害のある方への郵送による貸出・返却等
	平日の電話受付時間を午後5時までに短縮（4/15）	緊急事態宣言の対象を全47都道府県に拡大。千葉県も特定警戒都道府県（13都道府県）に指定（4/16）	
	新型コロナウイルス関連情報ページの新設（4/17）		
5月	緊急事態宣言が一部（39県）解除されるも、千葉県は継続。専門家会議が緊急事態措置の解除・再指定の水準を発表（5/14）	「図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」（日本図書館協会）策定（5/14）更新（5/26）	
5月	5/26開館を決定（5/22）	千葉県新型コロナウイルス感染症対策本部「新型インフルエンザ等緊急事態宣言に伴う措置について」により図書館に対する施設使用停止要請が解除される（5/22発出、5/31まで適用）	<b>○感染拡大防止策（再開当初）</b> 手指消毒液の設置 職員のマスク、フェイスシールド着用 定期的な換気 入館人数の制限、座席数の削減 短時間利用の協力要請（1時間以内） 集会事業・対面朗読サービスの休止 視聴覚資料の館内利用の休止 返却資料の一定期間留置（最大7日間） 共用物品等の消毒 対面箇所へのアクリル板等の設置 来館者に「入館受付票」（氏名・連絡先・居住市町村）記入を協力要請 接触確認アプリ（COCOA）推奨
	<b>開館（5/26）。平日の開館時間を5時までに短縮。</b> 「千葉県立図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」策定、備考欄のとおり感染拡大防止策を講じる。	緊急事態宣言を全国で解除。千葉県新型コロナウイルス感染症対策本部「新型コロナウイルス対策特別措置法に基づく協力要請について」（5/25発出、5/26から適用）	
6月以降	図書館職員向け研修の再開（一部Zoom）（6/18）	県内全ての施設に対する使用停止要請及び外出自粛協力要請の解除（6/19）	<b>○感染拡大防止策（継続中）</b> 手指消毒液の設置 職員のマスク着用 定期的な換気 入館人数の制限、座席数の削減 短時間利用の協力要請（2時間以内） 返却資料の一定期間留置（3日間） 共用物品等の消毒 対面箇所へのアクリル板等の設置 来館者に「入館受付票」（氏名・連絡先・居住市町村）記入を協力要請、 接触確認アプリ（COCOA）推奨 入館時の検温
	利用時間を2時間以内に変更（6/19）	県「いのちと社会を守る”新しい生活様式”」を発表（6/22）	
	対面朗読サービスと視聴覚資料の館内利用を再開（7/1）	第11回千葉県新型コロナウイルス感染症対策本部開催「再度の協力要請等の判断基準の見直しについて」（7/10）	
	入館時の検温開始（7/15）		
	<b>夜間開館の再開（平日午後7時まで）（7/29）</b>		
集会事業の一部再開（県民向け講座等）（8/20～）	国「11月末までの催物の開催制限等について」（9/11）発出、県「イベントの開催制限等について」（9/15発出、9/19から適用）		